

# 障がい者理解啓発イベント2019

全盲の姉と  
重度障がいの弟。  
私たちはなぜ  
生まれてきたのか。

## イーちゃんの 白い杖

20年間の心の記録。  
想像を超える絆に  
あなたは思わず涙する。

無料上映



生まれつき目が見えないイーちゃん。本名小長谷唯織（こながや いおり）さんは20年前、静岡盲学校で白い杖の使い方や点字など、視覚障がい者として生きる基本を学んでいた。触って、なめて、においを嗅いで。目が見えない世界は想像を超える発見があった。だが、成長するにつれ「なぜ自分だけ違うのか」不思議に思うようになる。そして、大勢友達がいた地域の保育園とは違い、同級生がいないさみしさを実感する。障がいを持った者同士、分かり合えると信じ、中学生になったイーちゃんは、東京の盲学校へ進学した。しかし、ここで経験したのははじめ。大好きなピアノで気持ちを整理しようとするが、心が追いつかなかった。「現実から逃

げないでほしい」と厳しく接する母。ピアニスト、歌手、作家...夢も破れ、何もかも嫌になった。障がいがあるがなかるうが悩みは同じだ。「学校にいても家にいてもつらい」「死にたい」とも考えた。でも一そぼにはいつも2歳下の弟・息吹（いぶき）がいた。重度の障がいで、食べることも歩くこともトイレにもいけない弟。入退院を繰り返して、手術を何度経験しても前に進む弟。イーちゃんは、自分の甘さに気づき、自殺を踏み止まる。「私の弟だから強いんだ！」障がい者が生き、働く。壁はいくつも乗り越えなければならない一しかし、乗り越えようとする強さがあれば、必ず幸せはやってくる。（制作・配給：テレビ静岡）

事前申込不要

# 2019年12月14日(土)

場所 みんなの森 ぎふメディアコスモス(岐阜市司町40番地5)

10:00~12:00 おどるスタジオ(50席), 12:50~14:50 ドキドキテラス(80席)

同時  
開催

- ◎手話・要約筆記・点字のミニ教室(10:00~12:00)
- ◎福祉の店 出店(10:00~15:00)
- ◎障がいについてのパネル展(10:00~15:00)
- ◎障がい者マークシールラリー(10:00~15:00)

映画鑑賞者と  
シールラリー参加者、  
合わせて先着200名様に  
粗品をプレゼント

問い合わせ先 岐阜市福祉部福祉事務所障がい福祉課

電話 058-214-2138 FAX 058-265-7613

E-mail fj-shougai@city.gifu.gifu.jp